

葺賞 (いらかしょう)

第16回 瓦屋根設計コンクール入選作品集

第3回 学生アイデアコンペティション入選作品集

主催 / 全国陶器瓦工業組合連合会

一般社団法人全日本瓦工事業連盟

後援 / 経済産業省

国土交通省

一般社団法人日本建築学会

公益社団法人日本建築家協会

公益社団法人日本建築士会連合会

一般社団法人日本建築士事務所協会連合会

一般社団法人日本建築美術工芸協会

全国いぶし瓦組合連合会

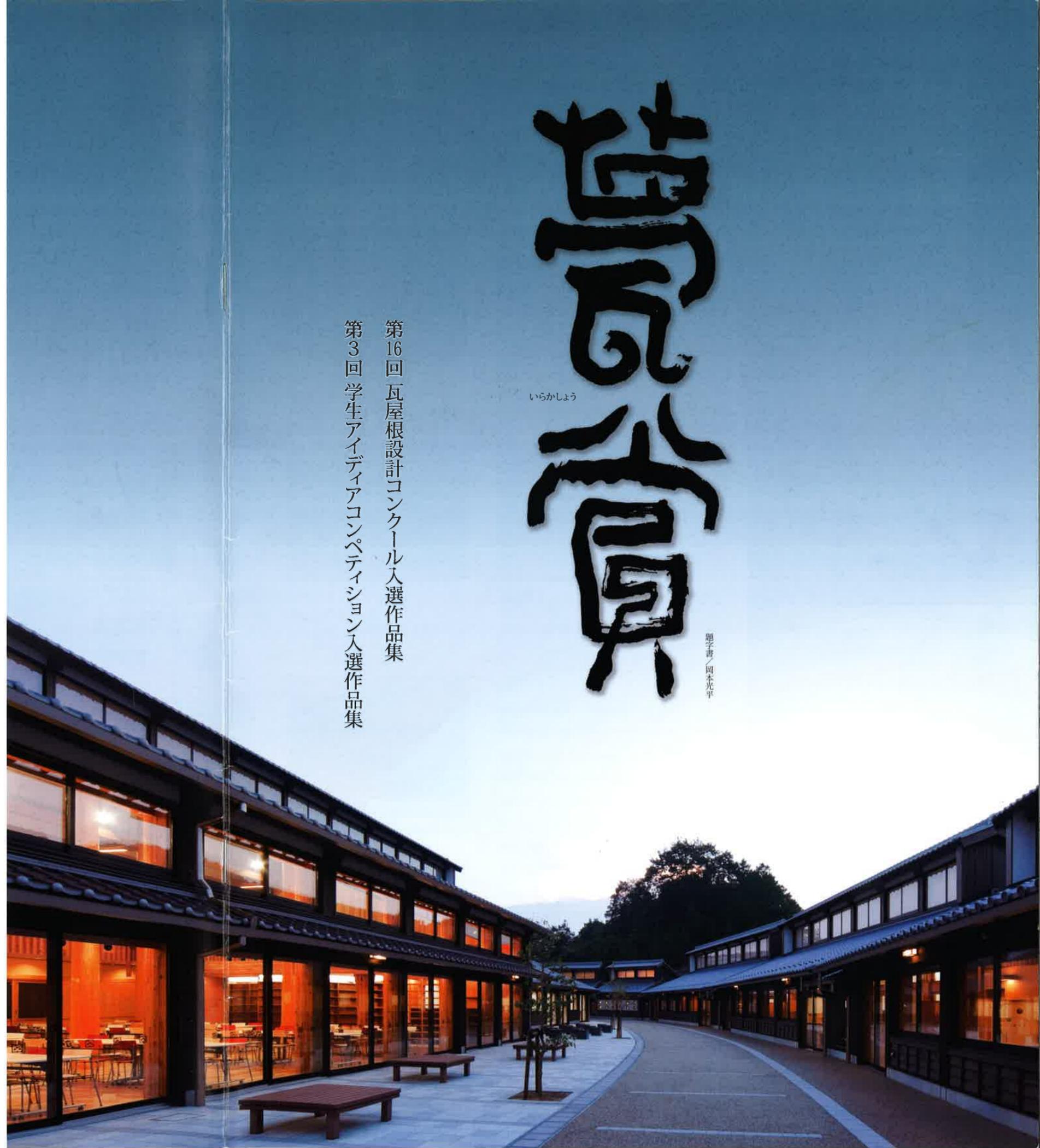
株式会社日本屋根経済新聞社

葺賞

いらかしょう

題字書 / 岡本光平

第16回 瓦屋根設計コンクール入選作品集
第3回 学生アイデアコンペティション入選作品集



Contents

審査講評 p.2

第16回 賞 瓦屋根設計コンクール入選作品集



【金賞 国土交通大臣賞】
枇杷の家 p.4



【金賞 経済産業大臣賞】
亀山市立関中学校 p.6



【銀賞】
名古屋商科大学
国際教育研究センター p.8



【銅賞】
神戸女学院
メアリー・アンナ・ホルブルック記念館 p.9



【景観賞 日本屋根経済新聞社賞】
シビックセンターゾーン p.10

- 【佳作】
- WADOYA p.11
 - 紀州街道の家 p.11
 - 今井町の家 p.12
 - 農園生活 p.12
 - 松江歴史館 p.13
 - 観音寺斎場 p.13
 - 堀之内妙法寺本堂 p.14
 - 総本山知恩院 p.14
 - 菓匠 福富 p.15
 - A K A R A p.15

第3回 賞 学生アイデアコンペティション入選作品集 p.16

会員名簿 p.21

賞

since 1981

ごあいさつ

古来より、我が国の厳しい自然環境に呼応して発展した伝統的な日本家屋。こうした和の住まいを見直す取り組みが昨年より6省庁連携でスタートしました。瓦屋根が生み出す日本の美しい風景は、日本建築美の象徴であるとともに、その高い耐久性から千数百年に亘り、日本の家屋を守り続けてきました。

また地震、台風などの自然災害に対しても「ガイドライン工法」に基づいた確かな施工で対応し、優れた安全性をお約束できる体制に至っております。安全で安心・長持ちという必要条件を十二分に備えた瓦の魅力を多くの方々に伝え、日本文化の継承として美しいまちづくりに一役担うことが、我々に課せられた役目と考えております。

さて、建築文化と瓦の可能性を求めてスタートした「賞」も、おかげさまで16回目を迎えました。また、前回「賞」から創設しました学生部門も昨年の単独開催をはさみ、今回で3回目を迎えました。瓦への情熱が感じられる多数の力作が全国から寄せられ、主催者一同、当コンクールの意義と役割を改めて実感いたしました。

最後に、ご応募いただきました方々をはじめ、審査委員各位、ご後援いただきました経済産業省、国土交通省、各建築団体ならびにご尽力を賜りました関係各位の皆様に厚くお礼申し上げます。

審査講評

- 委員長 古谷 誠章 (建築家 日本建築学会副会長 ナスカ一級建築士事務所代表 早稲田大学教授)
- 委員 堀越 英嗣 (建築家 堀越英嗣ARCHITECTS代表 芝浦工業大学教授)
- 委員 村上 晶子 (建築家 村上晶子アトリエ主宰 明星大学教授)
- 委員 寺家 克昌 (経済産業省製造産業局住宅産業課建材課長)
- 委員 屋敷 次郎 (国土交通省土地・建設産業局建設市場整備課長)
- 委員 薄井 幸夫 (全日本瓦工事業連盟理事長)
- 委員 野口 安廣 (全陶器瓦工業組合連合会理事長)
- 委員 佐々木 賢一 (全陶器瓦工業組合連合会副理事長)
- 委員 福原 幸哉 (全陶器瓦工業組合連合会副理事長)



審査委員長

古谷 誠章

日本建築学会副会長 ナスカ一級建築士事務所代表 早稲田大学教授

賞の審査は二度目となるが、今回は学生部門も加わって一段と活況を呈した。その学生部門では、『瓦素材』を用いた新しい公共空間の課題に対し、バラエティに富んだ80点の応募があり、とても楽しませてもらった。選考の結果、見事に金賞となったのは「日本風景となる造成地」で、普通ならせいぜい化粧コンクリート擁壁になってしまう住宅地の擁壁に瓦素材を用いるアイデアで、これだけで風景を一変させる力がある。またその土地の瓦を使うことで、それぞれに風土性が生まれるのも魅力だ。瓦製造の過程で出る規格外品の活用にも繋がる。銀賞「命の帯瓦」は津波浸水域を可視化すると共に常時は住民の憩いの施設として、また銅賞「繋ぐ道」は高速道路に対する提案で、いずれも都市的、土木的なスケールの構築物への提案に優れたものが多かった。瓦の利用価値を格段に高めるものだ。

作品例の部門では、一般部門26点、住宅部門18点の応募があり、金賞の「亀山市立関中学校」は公立中学での充実した

瓦葺き校舎の実現に敬服した。同じく金賞の「枇杷の家」の洗練された瓦屋根造形とともに、極めて完成度の高い作品である。銀賞の「名古屋商科大学国際教育研究センター」は、伸びやかな瓦屋根の造形に、熱田神宮の「信長塀」のモチーフを対比させて美しい。銅賞の「神戸女学院メアリー・アンナ・ホールブルック記念館」は多彩な釉薬瓦を丹念に施した力作である。また江津市の「シビックセンターゾーン」は壮大な再開発計画地に、入念に瓦素材の活用を計画した大作で、景観賞を贈るに相応しいと考えた。



審査委員

堀越 英嗣

堀越英嗣ARCHITECTS代表 芝浦工業大学教授

葺の持つ美しい日常の風景を描き出した小津安二郎監督の映画のシーンがそこで繰り返される普通の人々の生活とともに私の原風景として心に残っています。頻りに訪れる京都、奈良の葺の景観は日々の生活の中で失ってはならない大切な風景として心に刻んでいます。審査にあたり、葺の持つ美しい風景を現代建築として継承する姿勢が今回の賞の応募作品から伝わってきました。住宅部門金賞の「枇杷の家」は既存の建築や枇杷の木との調和を図る中から生まれた、自然で穏やかな仕事でありながらも、平瓦と木造の軒裏を美しい納まりで構成することで次の世代への新しい継承を感じさせる大変優れた作品であると思います。現在、学校建築という計画的な部分の新しさが注目されている中で、一般部門の「亀山市立関中学校」は、葺という屋根の質感やスケール感がもたらす、包み込むような優しさが伝わってくる中庭の雰囲気を感じました。学生たちの日々の生活の中で心を育むような場所が葺という質によってもたらされており、金賞に相

応しい作品だと思います。銀賞の「名古屋商科大学国際教育研究センター」は起りの大屋根と信長塀の立体的構成が美しい街並みを形作っていて、本来日本の建築が周囲の庭や外構と共鳴して風景を作るということを思い出させてくれます。スパニッシュ瓦の新旧の色彩を丁寧に追求した「神戸女学院」や、地域全体の景観が瓦で調和することを意識的に行った「シビックセンターゾーン」の試みも現代における古くて新しい提案だと思います。学生部門の金賞受賞した「日本風景となる造成地」では現在の郊外の一般的風景となっている敷地造成の擁壁による重苦しい景観を、垂直面の景観素材として瓦を造成の擁壁に適応させることで、美しい風景に一変させる大変優れた発想です。銀賞、銅賞を含めた他の案の多くが、建築と土木との境界を超える提案となっており、「瓦という素材を通して考えることで分野を超える」可能性を、多くの設計者に感じて頂けることを期待しています。



審査委員

村上 晶子

村上晶子アトリエ主宰 明星大学教授

『瓦』は、土から生まれた素材として懐かしい皮膚感覚を持っています。一枚毎の魅力もさることながら、集まった『葺の波』の群造形は塊としても美しい風景を創ります。そして『瓦』は自然との親和性と同時に、雨や光を受けて存在を示す強さも持ち合わせています。

今回の学生部門のテーマでは、心を紡ぐ『瓦』のある風景の継承と題して新しい日本の原風景が提案されることを期待しました。若い世代が「葺」という言葉に響いてくれて、思いがけない提案が多数出てきたことを嬉しく思います。なかでも、心を紡ぎ未来に懸け橋を渡してくれる風景を創っていたのは、銀賞「命の帯瓦」の林拓真さんです。魂の灯が過去から未来へと連続とつながる心象風景が、海岸沿いの瓦屋根の帯に表象され、人々の心が行き交う温かさが感じられ感動しました。また、今回驚いたことは、土木的構築物を瓦で覆うことで人間スケールへの親和性を持たせたものが多数提案されたことです。銅賞「繋ぐ道」の吉田昂平さん・石塚迅さんの案は、高速道

路という必要悪を逆手にとりつつ屋根の連年の造形として自然に風景に馴染ませて創ろうとしていることに好感が持てました。金賞の日野雄介さんの『日本風景となる造成地』も、瓦の小端積みの繊細さが新しい住宅地の風景を創る提案です。

一般部門では、金賞今川忠男さん設計の『枇杷の家』が愁眉です。遠景ではいぶし平瓦による水平線の強調による爽快感があり、近景における自然素材との懐かしさと共に魅力を醸成しています。土着的で野暮ったくなりながら素材を微塵も感じさせない清廉な表情を見せています。このような作品ができることで、現代の建築へ瓦を使うことのイメージに新しい風が吹くことと思います。



びわ いえ
枇杷の家



■ 設計趣旨

屋根のデザインは、自然素材、耐久性、耐火性などの考慮からかわらを選定した。街中の住宅のためどっしりとした瓦屋根やカラフルになりがちな釉薬陶器瓦でなく、平瓦を選定し色は銀艶のいぶし色とした。建物が東西に長いことから、水平に直線的なラインを強調させ、遠くから見ると瓦の陰影がずっと流れるような現代建築にある軽快感や透明感を備えつつ瓦本来の質量感を表現した。

作品名： 枇杷の家
受賞者名： 今川 忠男
所在地： 広島県福山市
施工会社名： ホーム株式会社
瓦施工業者名： 株式会社久松セメント瓦工業所
構造： 木造
面積： 171.48㎡
使用瓦： いぶし瓦
写真撮影： 有限会社フォートイルカ 野村和慎



かめやましりつ せきちゅうがっこう
亀山市立関中学校



■ 設計趣旨

現在、木造校舎は全国的にも珍しい物ではなくなっていますが、2棟で構成し、中庭に町の特徴を生かし、また、この中庭の周りには全て子どもたちのスペースで構成した事が特徴ある校舎の完成につながったと考えています。

中でも、「各戸の個性ある軒先瓦」については、ワークショップを通し、全校生徒160名が今回の建築に携わる意識を持って、各自が一文字に思いを込めて軒瓦製作に取り組みました。

焼成寸法105φの軒瓦巴部分の生型を120φとし、特注版木に逆さ文字を掘り込み成型されました。

- 作品名： 亀山市立関中学校
- 受賞者名： 株式会社石本建築事務所 名古屋支所
- 所在地： 三重県亀山市
- 施工会社名： 堀田建設株式会社
- 瓦施工業者名： 瓦勝
- 構造： 木造
- 面積： 5,524㎡
- 使用瓦： いぶし瓦
- 写真撮影： 株式会社エスエス名古屋 相羽光徳

銀賞



なごやしょうかだいがく

名古屋商科大学

国際教育研究センター(短期留学生用学生寮)

■ 設計趣旨

広大な緑地を望む、高低差約22mの斜面地に計画された、短期留学生用の学生寮である。

— 時の流れに耐える存在感・統一感を持つ簡潔な和の外観 —
「瓦」を単なる建築の構造材としてだけでなく、日本の「こころ」を感じさせる素材として捉え、瓦の持つ穏やかさ[起りの屋根]と力強さ[信長塀]を対比的に並置し、瓦の伝統美を街並みに対し全面的に展開した。

作品名	名古屋商科 大学国際教育研究センター(短期留学生用学生寮)
受賞者名	株式会社竹中工務店 名古屋支店設計部 薄田 学・町田 伊左雄
所在地	愛知県名古屋市
施工会社名	株式会社竹中工務店
瓦施工業者名	株式会社坪井利三郎商店
構造	RC造
面積	2,859.51㎡
使用瓦	いぶし瓦
写真撮影	株式会社エスエス名古屋 相羽光徳



銅賞



こうべじょがくいん

神戸女学院

メアリー・アンナ・ホルブルック記念館

■ 設計趣旨

神戸女学院岡田山キャンパスは、1933年にW.M.ヴォーリズによりキャンパスとして全体を設計された建築群がほぼそのまま残ります。大学機能の成長・変化に伴い、敷地一角にある傾斜地に、今回の建物が計画されました。

文化財にも指定される既存建物に隣接し、ヴォーリズ建築の特徴であるスパニッシュ様式をいかに継承するかを求められました。

作品名	神戸女学院 メアリー・アンナ・ホルブルック記念館
受賞者名	株式会社竹中工務店 鍋谷めぐみ・君塚昌子
所在地	兵庫県西宮市
施工会社名	株式会社竹中工務店
瓦施工業者名	株式会社福原工業
構造	RC造・一部S造
面積	1,708.98㎡
使用瓦	陶器瓦
写真撮影	古田写真事務所 古田雅文



景観賞

日本屋根経済新聞社賞



シビックセンターゾーン

■ 設計趣旨

一般的な住宅建設において瓦離れが進み、さらに赤瓦の利用が減少するなどし、瓦の街としてのイメージ薄れることを危惧する江津市において、近代的な赤瓦景観を市民に提供することにより、赤瓦を身近に感じ、またその素晴らしさを改めて実感することにより石州赤瓦の街を創造・再生・継承を先導する存在となりました。



作品名：シビックセンターゾーン
 受賞者名：江津市 建設部 都市計画課
 所在地：島根県江津市
 施工会社名：多数
 瓦施工業者名：有限会社沖野工業 株式会社日商
 構造：各種
 面積：全体敷地面積 約10ha
 使用瓦：陶器瓦・無釉薬瓦
 写真撮影：山本雅夫

佳作

WADOYA (和堂舎)^{わどや}

「時代を超えて親族の拠点となると共に、三世代に渡る家族の多様な生活状況を受け止める器として計画されたこの住宅は、内外共にどこかアンビバレンツな表情が特長である。明快な建築的思想の基に造られた「建築」とは別に、習慣や多様な状況、伝統や技術、感情や意志を積み重ねた人の思いや心と共に、時間の流れに依り熟成するアニミズム的空間を期待し、この堂の生まれるプロセスに立ち会った。

作品名：WADOYA (和堂舎)
 受賞者名：岸上 勝彦
 所在地：大阪府大阪市
 施工会社名：株式会社アップ
 瓦施工業者名：有限会社屋根屋 瓦善
 構造：木造
 面積：311.55㎡
 使用瓦：いぶし瓦
 写真撮影：母倉写真事務所 母倉知樹



紀州街道の家^{きしゅうかいどう いえ}

当建物は、400年以上前の江戸時代から大阪と和歌山をつなぐ街道(紀州街道)に面して位置している。(旧建物と合わせて間口約30m)江戸時代の雰囲気を残しつつ、現在のモータリゼーションに合ったデザインを醸し出す事に重点を置いた。そのデザインの基本は、屋根の大きさと高さ、勾配、特に軒先、ケラバの厚み寸法とのおさまり具合である。

作品名：紀州街道の家
 受賞者名：吉野 富博
 所在地：大阪府岸和田市
 施工会社名：株式会社阪本工務店
 瓦施工業者名：藤本窯業株式会社
 構造：鉄骨造
 面積：168.00㎡
 使用瓦：いぶし瓦
 写真撮影：有限会社下村写真事務所 下村康典



佳作



いまいちょう いえ

今井町の家

奈良県橿原市今井町は、重要伝統的建造物群保存地域に選定された中世戦国時代の美しい街並みが残ることで知られている。この地区内で築約200年の町家をリノベーションすることになった。現代のライフスタイルに適合させつつ、伝統町家特有の不具合(動線、プライバシー、寒暖、柔構造で足元が脆弱)を解消し、耐震構造をこの機会に適切に行い、伝統町家の空間的構造的特徴を損なわず全面改修する。

作品名：今井町の家
受賞者名：NEO GEO 横関 正人+横関 万貴子
所在地：奈良県高市郡
施工会社名：株式会社岩鶴工務店
瓦施工業者名：藤本窯業株式会社
構造：木造+耐震補強フレーム
面積：133.36㎡
使用瓦：いぶし瓦
写真撮影：絹巻豊写真事務所 絹巻豊



のうえんせいかつ

農園生活

計画地は愛知県蒲郡市内の住宅地でありながら、ミカン畑が点在する温暖な地域にある。自宅の南側が「ミカン畑」であり、生活と「ミカン栽培(農業)」が密接に関係している。夫婦は社会人と農家としての二つの時間の感覚をお持ちであった。住宅と畑の密接な関係は、住み手のライフスタイルに直接反映する。「兼業農家」としての「農園生活」というライフスタイルの提案である。

作品名：農園生活
受賞者名：WORK CUBE + 大山圭史
所在地：愛知県蒲郡市
施工会社名：株式会社カムロ
瓦施工業者名：株式会社山平
構造：木造
面積：161.44㎡
使用瓦：いぶし瓦
写真撮影：カワゾパートナーズ 河野 政人

まつえきしかん

松江歴史館

江戸時代の松江藩領内が主テーマの「お城が見える博物館」

プロポーザルの要件「基本デザインは黒瓦・白壁・腰板の家老屋敷にふさわしいイメージにする。」との指定に応え、また、多くの市民やワークショップの熱い願いが叶うよう、周囲の歴史的景観を意識した設計を心掛けた。

作品名：松江歴史館
受賞者名：有限会社環境計画建築研究所
代表 矢田 和弘
所在地：島根県松江市
施工会社名：松江土建他共同企業体
瓦施工業者名：株式会社丸上瓦工業所
構造：RC造一部S造・W造
面積：3,918㎡
使用瓦：いぶし瓦
写真撮影：SATO PHOTO 佐藤 和成



かんおんじさいじょう すいぼうえん

観音寺齋場 燧望苑

市の中心部より南東に位置する丘陵地の中腹に造成された敷地です。この丘からは市内ほぼ全域と瀬戸内海の燧灘を一望できます。市街地に向かって開かれた敷地の為、建物を山間に納め見えにくくする事も難しく、逆に市内から遠望できる事から、地域の雰囲気を変える事なく、風景の一部となる事を考えました。

作品名：観音寺齋場 燧望苑
受賞者名：新企画設計株式会社
高橋 祐二郎
所在地：香川県観音寺市
施工会社名：株式会社普組他共同企業体
瓦施工業者名：株式会社請川窯業
構造：RC造
面積：3,853.20㎡
使用瓦：いぶし瓦
写真撮影：株式会社ACプロ 船田 一徹



佳作



ほりのうちみょうほうじ

堀之内妙法寺

本堂耐震改修

築200年を間近に控え、「本堂 平成大改修」が行われることとなった。

- ①本堂の品格を高める、棧瓦から本瓦への葺き替え。
- ②アルミ垂鉛ダンパーの見えない補強と見えない設備。
- ③瓦葺き替えに伴う廃瓦の再利用。

作品名：堀之内妙法寺本堂耐震改修
受賞者名：株式会社竹中工務店
水野吉樹・薬師寺浩・青木照幸
所在地：東京都杉並区
施工会社名：株式会社竹中工務店
瓦施工業者名：株式会社渡辺瓦店
構造：木造
面積：418.32㎡
使用瓦：いぶし瓦
写真撮影：株式会社ミヤガワ 宮川昌之



そうほんざんちおんいん

総本山知恩院

和順会館・参道整備

法然上人800回忌記念事業として、信徒会館の建替と参道の整備を行った。京都東山の自然への繋がりを持ち、国宝三門前の広場に開かれた環境を創ることが事業の狙いである。

和順会館・参道共に伝統的な素材を用いた現代のものづくりを行い、歴史的環境に融和した清澄さを持つ場を創造した。

作品名：総本山知恩院
受賞者名：株式会社竹中工務店
小椎尾 龍介・松浦 真樹
所在地：京都府京都市
施工会社名：株式会社竹中工務店
瓦施工業者名：小林瓦工業株式会社
構造：RC造
面積：6,746.76㎡
使用瓦：いぶし瓦
写真撮影：株式会社竹中工務店 古川 泰造

かしょう ふくとみ

菓匠 福富

この和菓子店が持つ材料へのこだわり、伝統文化の継承、職人の技、四季の移ろいや自然との調和などのテーマが建築とリンクしており、仕上材には石、木、土など自然素材を選択してそれぞれの素材感を活かすことを心がけ、伝統的な工法や日本的な美を追求することで店舗のコンセプトが同化した空間が実現した。

作品名：菓匠 福富
受賞者名：今川 忠男
所在地：広島県福山市
施工会社名：株式会社共栄店舗
瓦施工業者名：有限会社福山スレート工業所
構造：木造
面積：68.87㎡
使用瓦：いぶし瓦
写真撮影：有限会社フォートイルカ
野村 和慎



AKARA

ボクネン美術館

沖縄を代表する版画家・名嘉睦稔氏の美術館。沖縄の風土を生かし、多くの人が集う場所であり、沖縄の創造文化の発信源でありたいとの思いが込められている。

建物は3棟に分けられ、路地を風が駆け抜ける。「風が喜んでいる」と表現する人もいるくらいに季節の風を感じることができる。

作品名：AKARA (ボクネン美術館)
受賞者名：株式会社YAFUSO総合設計
所在地：沖縄県中頭郡
施工会社名：株式会社屋島組
瓦施工業者名：有限会社八幡瓦工場
構造：RC造・一部鉄骨造
面積：1,874.22㎡
使用瓦：陶器瓦
写真撮影：平良 俊雄



第3回 賞 学生アイデアコンペティション入選作品集

【金賞】

日本風景となる造成地

p.17



【銀賞】

命の帯瓦

p.18



【銅賞】

繋ぐ道

p.19



【佳作】

瓦道の振る舞い p.19

瓦に水を与えよう! p.20

鱗瓦で繋ぎ、彩る昇竜道 p.20

道の駅『かわら』 p.20

水境 p.21

金賞

日本風景となる造成地



□ CONTEXT

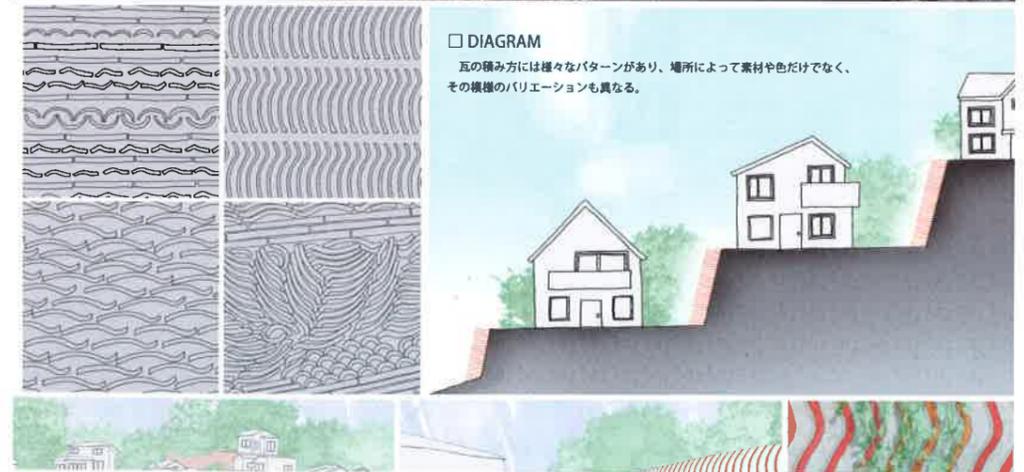
日本には山岳地帯が多く、郊外では土地の造成による開発が進み、美しい山間の風景は無機質なコンクリートへと表情を変えてしまっている。打ち放しのコンクリートで塗り固められた山はなんだか味気ない。そんな問題を瓦を使うことで解決できるのではないかと考えた。

□ CONCEPT

淡路島では野積みされた瓦がそのまま型になったり、その上に家を建てたりと、瓦が風景の一部として様々な場所に息づいている。今回はそれにならって、ひな壇造成のコンクリート表面を積んだ瓦で覆い、新しい日本の風景を創出する。

□ DIAGRAM

瓦の積み方には様々なパターンがあり、場所によって素材や色だけでなく、その模様のバリエーションも異なる。



にほんふうけい

ぞうせいち

日本風景となる造成地

受賞者名：日野 雄介
所属学校：東京理科大学

■ 設計趣旨

土地の造成による開発が進み、山間の風景は無機質なコンクリートへと表情をかえた。瓦によってコンクリート表面を覆うことで、美しい景観を再生すると共に瓦の新たな魅力を創出する。

銀賞

命の帯瓦

海沿いの日本の原風景が残る町に光る瓦の帯が現れます。この帯は震災の際に予想される津波の最高到達ラインに沿って建てられます。瓦の帯は津波の被害を軽減し、人々の命を救う役割を果たします。瓦の帯は津波の被害を軽減し、人々の命を救う役割を果たします。瓦の帯は津波の被害を軽減し、人々の命を救う役割を果たします。



concept

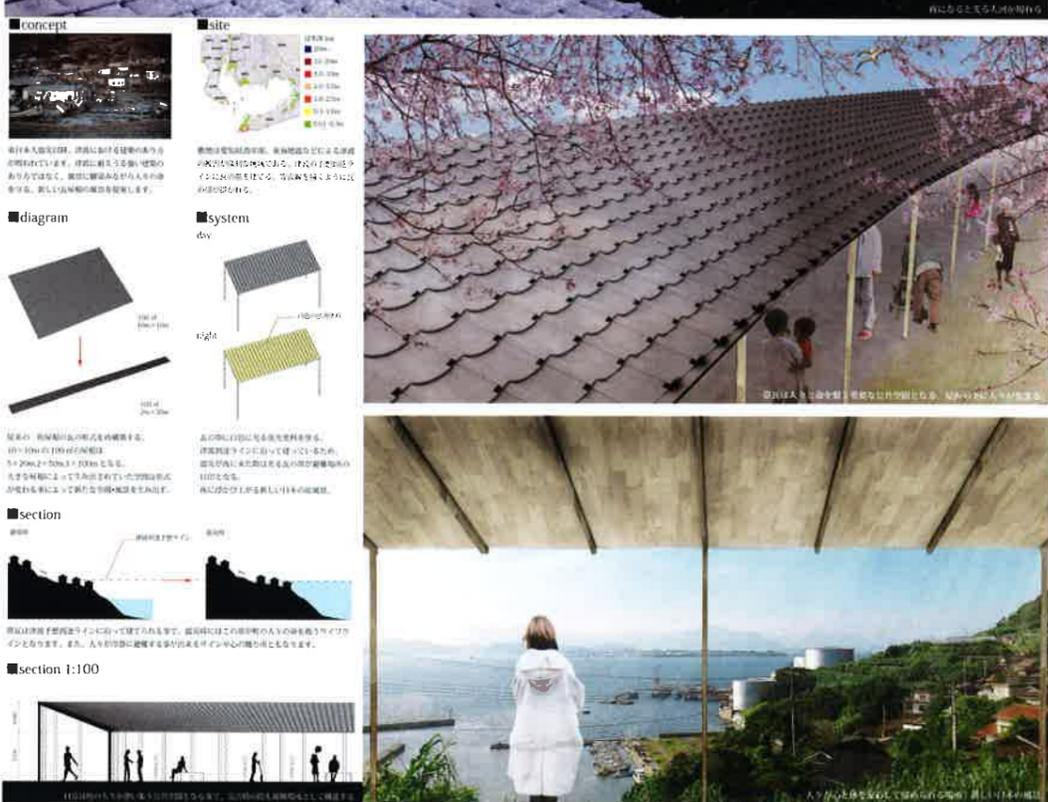
Site

diagram

System

section

section 1:100



いのち たいが

命の帯瓦

受賞者名：林拓真
所属学校：東京理科大学 大学院

■ 設計趣旨
海沿いの日本の原風景が残る町に光る瓦の帯が現れます。この帯は震災の際に予想される津波の最高到達ラインに沿って建てられます。新しい瓦屋根の風景が人々の命を紡ぐ帯瓦となるように設計しました。

銅賞

繋ぐ道






つな みち

繋ぐ道

受賞者名：吉田昂平・石塚迅
所属学校：芝浦工業大学

■ 設計趣旨
日本の良き風景を維持する地域にとって高速道路という建造物は、景観の分断や自動車の走行による様々な問題を引き起こしている。日本の良き原風景の趣は維持しつつ、高速道路という現代の新たなツールを加え、これからの新しい日本の原風景を提案する。

佳作

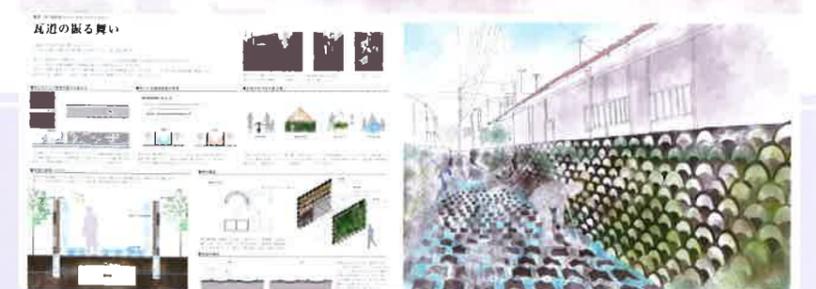
かわらみち ふ ま

瓦道の振る舞い

路地空間の魅力を見出すために「瓦」と「水」を組み合わせます。瓦のもつ造形と素材は、路地の壁、床に敷き詰められます。水の軸を加えることで路地に機能をもたせ、新たなコミュニティを誘発します。人々の振る舞いとも言えます。「瓦」と「水」が出会い、昔のように路地が人々のコミュニティの場となります。



瓦道の振る舞い

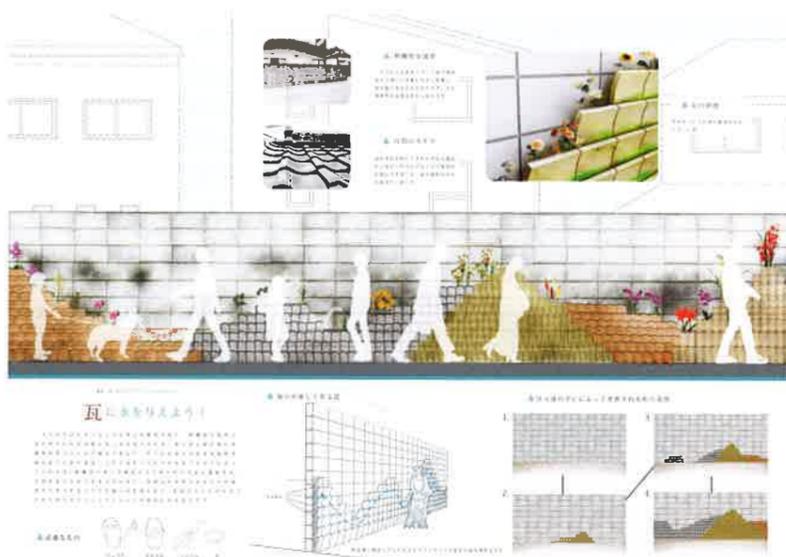


受賞者名：原尚正
所属学校：秋田県立大学 大学院

佳作

かわら みず あた 瓦に水を与えよう!

人々の生活にとってとても身近な場所であるが、無機質な印象を与えやすい住宅の「塀」に粘土瓦で化粧をする。住民の趣味に合った瓦が、パッチワークのように家の前を彩り始め、自然に出来上がる瓦のアウトラインにそって土を盛り、植物を植えてゆく。これらはすべて住人のセルフビルドによって行われる。



受賞者名：齊藤 巧朗
所属学校：芝浦工業大学

うろこがわら つな いろど しょうりゅうどう 鱗瓦で繋ぎ、彩る昇竜道

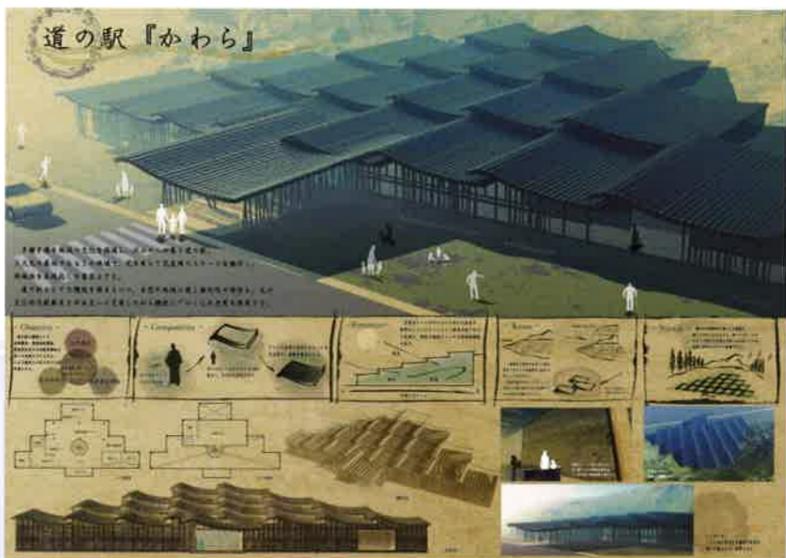
観光地と観光地を繋ぐインフラが、道中の観光を意識せずに崖を削り出し造られた法面防護壁や落石防止柵で占められている。今回我々はその点に着目し、中部北陸地方に点在する観光地を結んできた道「昇竜道」を例として取り上げることで、全国の観光の道中がただ移動するだけの道だけではなく、道も観光の一つとして賑わっていくことを考える。



受賞者名：奥田 隆太郎・岡田 一輝・徳森 寛希
長屋 美咲・大野 将弥
所属学校：名城大学

みち えき 道の駅『かわら』

道の駅とは土地によって多種多様で、その地域の文化性の表出や、景色を反映される独特な公共建築です。そこで私は瓦が産出されてから使用するまでを地域文化の一つの主旨として、この建築によって具現化しました。そして、この道の駅が地域のシンボルとなり、人や風景を継承していく重要な存在であってほしいと願っています。



受賞者名：石井 陽
所属学校：武蔵野美術大学

すいけい 水境

瓦によって都市河川のもつ空間を
境内へと変える建築の提案

瓦で覆われた細長い都市河川の空間は境内となり、裏側の空間では無い自立した空間の意味を持つ。



受賞者名：藤城 昂大
所属学校：東北大学 大学院

会員名簿

- | | | |
|------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------|
| 全国陶器瓦工業組合連合会
〒102-0071 東京都千代田区富士見 1-7-9 東京瓦会館4F
TEL 03-3263-2840 | 東京都瓦工業組合連合会
〒102-0071 東京都千代田区富士見 1-7-9 東京瓦会館4F
TEL 03-3265-2807 | 石州瓦工業組合
〒690-0822 島根県松江市下東川津町161-2(南持田屋瓦建材内)
TEL 0852-25-5678 |
| 愛知県陶器瓦工業組合
〒444-1323 愛知県高浜市田戸町 1-1-1
TEL 0566-52-1200 | 神奈川県瓦屋根工業連合会
〒254-0088 神奈川県平塚市北豊田624(㈱成田屋商店内)
TEL 0463-34-3501 | 島根県瓦工業組合
〒694-0305 島根県大田市大森町イ-1688-2(㈱セラミカ内)
TEL 0854-89-0011 |
| 石州瓦工業組合
〒695-0016 島根県江津市嘉久志町イ 405
TEL 0855-52-5605 | 新潟県瓦工業連合会
〒950-2023 新潟県新潟市西区小新 1711-1
TEL 025-233-6474 | 鳥取県瓦工業組合
〒682-0035 鳥取県倉吉市大栄町801-23(㈱モリサキ内)
TEL 0858-22-6251 |
| 淡路瓦工業組合
〒656-0332 兵庫県南あわじ市湊 134
TEL 0799-38-0570 | 富山県瓦工業協同組合
〒931-8314 富山県富山市粟島町 2-3-24 富山瓦会館
TEL 076-441-5228 | 広島県瓦工業組合連合会
〒734-0013 広島県広島市南区出島 2-13-24
TEL 082-254-1359 |
| 北陸粘土瓦工業会
〒923-0061 石川県小松市国府台 5-29-1
石川県瓦工業協同組合内
TEL 0761-47-3294 | 山梨県瓦工業連合会
〒404-0046 山梨県甲州市塩山上井尻717-19(タキワ工業内)
TEL 0553-32-0248 | 山口県瓦工業協同組合
〒741-0092 山口県岩国市多田1-102-19
TEL 0827-35-5031 |
| 児玉釉瓦工業(株)
〒367-0105 埼玉県児玉郡美里町沼上 17
TEL 0495-76-1171 | 長野県瓦工業組合連合会
〒389-0803 長野県千曲市千本柳867-2 石井瓦工業(株)内
TEL 026-275-5138 | 香川県瓦工業組合
〒763-0093 香川県丸亀市郡家町2937-1(㈱琴平工業所内)
TEL 0877-22-3351 |
| 福田益夫瓦工業所
〒689-1122 鳥取県鳥取市船木町 43
TEL 0857-51-8152 | 静岡県瓦屋根工業連合会
〒432-8068 静岡県浜松市西区大平台4-29-8 井崎瓦店内
TEL 053-485-8545 | 菊間町窯業協同組合
〒799-2303 愛媛県今治市菊間町浜 228-4
TEL 0898-54-5511 |
| 一般社団法人 全日本瓦工業連盟
〒102-0071 東京都千代田区富士見 1-7-9 東京瓦会館4F
TEL 03-3265-2887 | 愛知県屋根工業連合会
〒477-0841 愛知県碧南市塩浜町1-32 磯貝屋根工事内
TEL 0566-41-3059 | 愛媛県瓦工業組合
〒791-8011 愛媛県松山市吉藤 3-10-37 大東産業(株)内
TEL 089-924-5335 |
| 岩手県瓦工業組合
〒029-3101 岩手県一関市花泉町花泉西鹿野37-1
(㈱酒井瓦工業内)
TEL 0191-82-2535 | 岐阜県瓦工業組合
〒501-1131 岐阜県岐阜市黒野 617-1
TEL 058-230-1543 | 高知県瓦工業組合
〒781-5101 高知県高知市布師田3065(㈱森田瓦内)
TEL 088-845-0222 |
| 宮城県瓦工業組合
〒981-1242 宮城県名取市高館吉田字野来56-13
北沼かわらや内
TEL 022-382-0081 | 福井県屋根工業協同組合
〒910-0015 福井県福井市二の宮 3-22-18
TEL 0776-21-6471 | 徳島県瓦工業・販売組合
〒770-0856 徳島県徳島市中洲町2-21-2(㈱カスコ内)
TEL 088-625-2151 |
| 山形県瓦工業組合
〒998-0036 山形県酒田市船場町 1-7-21(㈱杉野瓦産業内)
TEL 0234-24-7878 | 石川県瓦工業協同組合
〒920-0348 石川県金沢市松村 2-80
TEL 076-268-3369 | 福岡県瓦工組合
〒811-1346 福岡県福岡市南区老司2丁目8-9
TEL 092-567-8971 |
| 福島県瓦工業組合連合会
〒960-0478 福島県伊達市細谷7-2(㈱桂山瓦店内)
TEL 024-583-2484 | 三重県屋根工業組合連合会
〒514-0304 三重県津市雲出本郷町1801-4
昌栄組屋根工事(株)内
TEL 059-234-2713 | 佐賀県瓦工業協同組合
〒840-0814 佐賀県佐賀市成章町 7-3
TEL 0952-22-1055 |
| 茨城県瓦工業組合連合会
〒309-1611 茨城県笠間市笠間 2346-3
茨城県工業技術センター一室業指導所内
TEL 0296-72-0843 | 大阪府瓦工協同組合
〒542-0062 大阪府大阪市中央区上本町西1-2-14
第三松屋ビル
TEL 06-6762-6721 | 長崎県瓦工業組合
〒851-2108 長崎県西彼杵郡時津町日並郷3644(㈱編瀬内)
TEL 095-882-8091 |
| 栃木県瓦工業組合連合会
〒328-0075 栃木県栃木市箱森町10-26 幸栄瓦工業(株)内
TEL 0282-23-3260 | 滋賀県瓦工業協同組合
〒524-0104 滋賀県守山市木浜町 100
TEL 077-585-3600 | 長崎県北瓦工業組合
〒857-1164 長崎県佐世保市白岳町468
TEL 0956-31-6371 |
| 群馬県屋根瓦工業組合連合会
〒370-0511 群馬県邑楽郡大泉町北小泉3-20-26
小久保瓦店内
TEL 0276-62-3678 | 京都瓦工業組合連合会
〒601-8448 京都府京都市南区西九条豊田町 12
TEL 075-691-5511 | 熊本県瓦工業組合
〒860-0812 熊本県熊本市中央区南熊本 3-8-16
TEL 096-371-5883 |
| 埼玉県瓦工業組合連合会
〒350-0811 埼玉県川越市小堤549-18 杉本瓦店内
TEL 049-231-7353 | 和歌山県屋根工業協同組合
〒640-8142 和歌山県和歌山市3番町77
武一ビル2-3号(㈱アイニス内)
TEL 073-435-3477 | 大分県屋根工業協同組合
〒870-0913 大分県大分市松原町 2-4-17
TEL 097-551-1337 |
| 千葉県瓦工業連合会
〒287-0042 千葉県香取市山之辺 1471-2(㈱シノツカ内)
TEL 0120-335-207 | 奈良県瓦工業協同組合
〒632-0055 奈良県天理市遠田町 45-11
TEL 0743-66-0331 | 宮崎県屋根工業組合連合会
〒887-0034 宮崎県日南市風田1458
(㈱日南セメント瓦工業所内)
TEL 0987-23-7811 |
| | 兵庫県屋根工業連合会
〒650-0012 兵庫県神戸市中央区北長狭通 3-1-4
TEL 078-391-2978 | 鹿児島県瓦工業組合
〒899-5117 鹿児島県霧島市隼人町見次472 原口高圧瓦(株)内
TEL 0995-42-5538 |
| | 岡山県瓦工業協同組合
〒710-0803 岡山県倉敷市中島2360-20(㈱山陽瓦内)
TEL 086-441-0485 | 鹿児島県瓦屋根工業組合
〒892-0875 鹿児島県鹿児島市川上町 1080-1(㈱窪弘商店内)
TEL 099-243-4766 |
| | | 沖縄県屋根工業組合
〒903-0125 沖縄県中頭郡西原町上原288-8 ルーフビル2F
TEL 098-944-4496 |